

計画の策定にあたって

計画策定にあたり、住民の皆さんのご意見を反映するために、ワークショップを開催し、自治会役員、PTA役員、大学生、その他関連団体及び企業など多様な皆様にご参加いただきました。

第1回 ワークショップ
令和6年3月19日(火)

坂地区の現況や課題を共有しよう！
坂地区のいいところ・改善したいところを共有する

第2回 ワークショップ
令和6年7月8日(月)

坂地区の目指す姿を考えよう！
坂地区の将来像について考えよう

第3回 ワークショップ
令和6年10月7日(月)

地区の振興につながるコアプロジェクトを考えよう！
地区の振興につながる取組みアイデアを検討



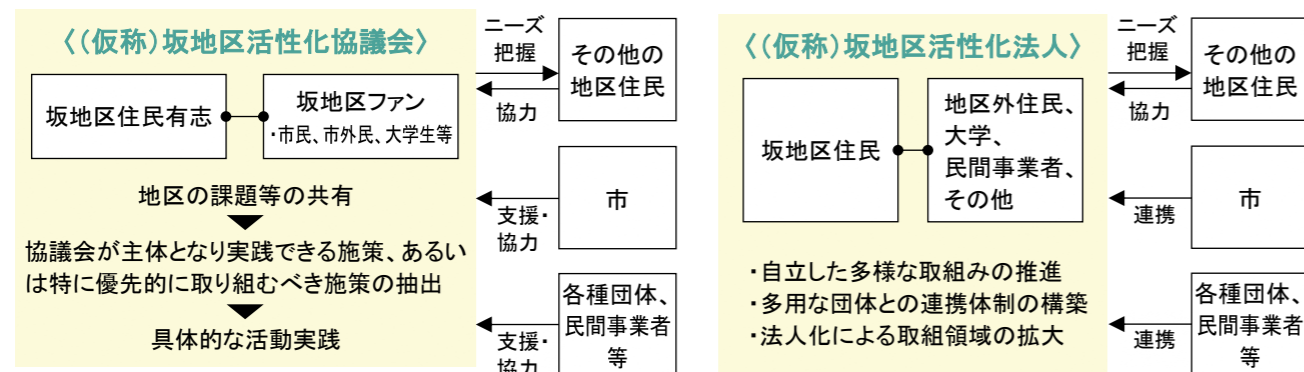
計画の推進体制

地区住民のニーズを踏まえつつ、協議会が主体となり実践できる施策、あるいは本計画に位置付けられた施策のうち特に優先的に取り組むべき施策を抽出し、具体的な活動の実践に繋げていきます。また、市はこれらの取組みが円滑にかつ効果的に展開できるよう、勉強会等の開催、様々な情報提供、協力団体のマッチング等、必要な支援や協力を行います。

具体的な活動の実践にあたっては、協議会で全てを実践することに拘らず、活動内容に応じて外部団体や民間事業者等と連携しながら進めていくこととします。

その後は、外部団体や民間企業等との連携を図りつつ、段階的に実践する施策を拡大し、NPO等の法人化も視野に入れ、坂地区活性化のエリアマネジメント組織へと発展していくことを目指します。

■法人化も視野に入れたエリアマネジメント組織への発展



三島市坂地区振興計画 概要版

2025年3月

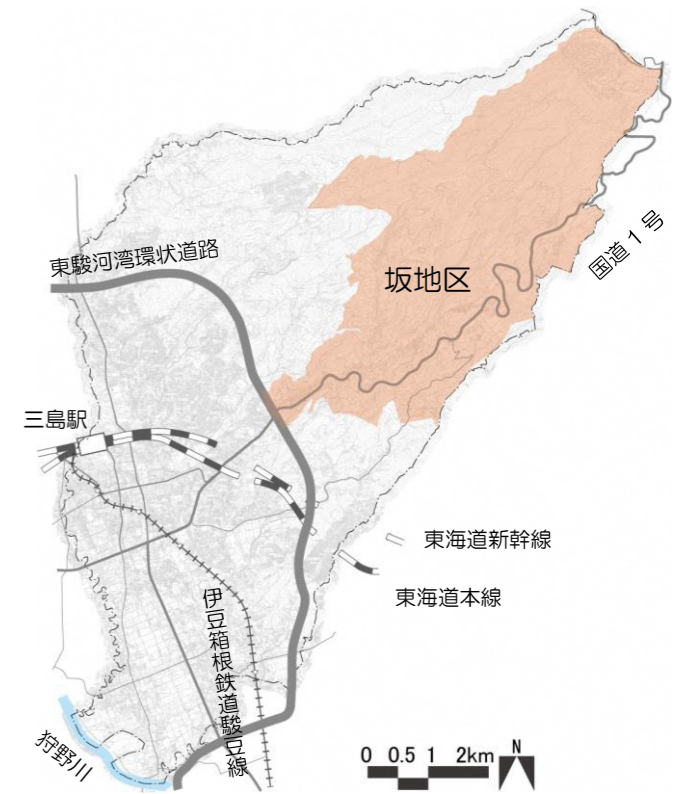
三島市坂地区振興計画とは

箱根西麓に位置する坂地区は、森林や箱根西麓三島野菜を生産する農地など豊かな緑に恵まれ、至るところで富士山や市街地を眺望できるとも環境のよい集落です。

一方、三島スカイウォークや伊豆フルーツパークといったレジャー施設が立地し、山中城跡や箱根旧街道などの歴史資源もあることから、国内外から多くの観光客が訪れています。

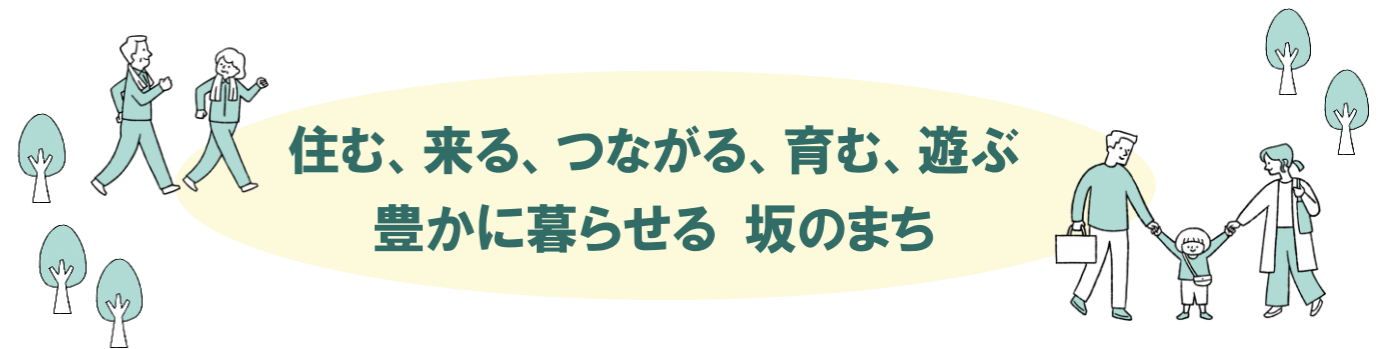
また、小規模特認校である三島市立坂小学校の学区となっており、特色ある教育を求めて学区外から通学する児童や移住者もいるなど地区外との交流も盛んですが、近年、少子高齢化が進行しています。

『三島市坂地区振興計画』(以下、本計画という。)は、地区の特性や課題に基づいて目指す将来像や方向性を示し、地域資源を活かした活性化のあり方や住民のまちづくり活動と連携した方策についてとりまとめるものです。



坂地区の将来像

本計画では、坂地区の現況と課題やまちづくりワークショップ(裏面参照)による住民の皆さんの意向を踏まえ、「地区の将来像」を次のように設定しました。



坂地区は、日本遺産に認定された「箱根八里」沿いに位置する自然豊かな坂の集落で、箱根西麓三島野菜の生産地としても知られています。

この恵まれた自然環境と顔が見えるコミュニティの中で、地域ぐるみの子育てができる地区を目指します。

また、多様な観光資源とアウトドアを楽しむことができる地区として、おもてなしではなく、豊かな暮らしの“おすそ分け”ができる地区を目指します。

■ 施策の体系

地区の目指す姿を「将来像」として定め、これを実現するための柱を「まちづくりの方針」として定めま
す。5つのまちづくりの方針（分野）ごとの「施策方針」は以下のとおりです。



■ 重点プロジェクト

本計画を推進するにあたり、より実効力、波及力のある事業を展開するために、3つの「重点プロジェクト」を掲げます。

重点プロジェクト1 ● まちづくりの拠点づくりプロジェクト

◆ 目的

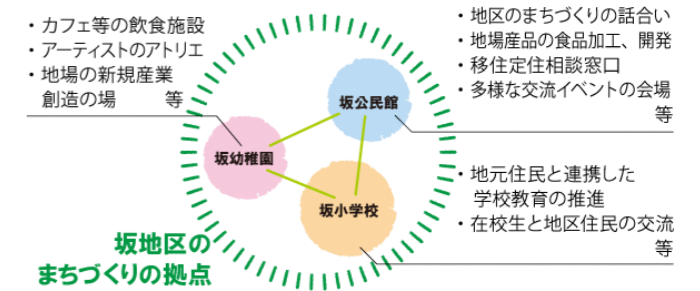
坂公民館、坂幼稚園について多様な活用を図ることにより、地区住民等が主体となったまちづくり活動の積極的な推進と地区活動と連携した坂小学校の運営に繋げていきます。

◆ 対象地

坂小学校、坂公民館、坂幼稚園を含むエリア

◆ 進め方のイメージ

必要な活動の抽出 → 活動実践準備 → 活動実践



重点プロジェクト2 ● 箱根西麓ライドベースづくりプロジェクト

◆ 目的

サイクリングコースやマウンテンバイクコースの整備、設定を行い、少年自然の家をコース利用者の飲食施設や宿泊施設、あるいは多目的な活用を促進することにより交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化に繋げていくことを目的とします。

◆ 対象地

箱根の里周辺を中心とした坂地区内

◆ 実現のための主な施策イメージ

- マウンテンバイクコースづくり
 - 箱根の里少年自然の家を中心とした山中へのコースの整備
 - 地区内におけるコースの設定
- 箱根の里・少年自然の家の活用
 - マウンテンバイクのレンタル窓口やメンテナンススペース等の設置
 - マウンテンバイクコース利用者の休憩、飲食、宿泊施設としての活用
 - 多様な利用ができるような少年自然の家の使用条件の見直し
- コースの維持管理・活用
 - 市・観光協会・住民が連携・協力したイベントの開催やコースの維持管理（倒木や落ち葉の除去等）



重点プロジェクト3 ● 移住定住促進プロジェクト

◆ 目的

坂地区への移住定住を促進するために、豊かな自然環境、美味しい農作物、旧東海道の歴史文化、あるいは良好なコミュニティ、さらに魅力的な教育を進める坂小学校等、坂地区の魅力を経験的かつ戦略的に発信していくとともに、移住定住者の受け皿となる、空き家情報等の集約、移住希望者等とのマッチングを進めていきます。これらの取り組みを、地区住民、小学校 PTA、地区外民有志、民間事業者、行政等が連携して取り組んでいきます。

◆ 実現のための主な施策イメージ

- 空き家情報の集約とマッチング（専門家組織の構築、空き家のデータベース化等）
- 地区の魅力の情報発信（SNS 等による情報発信、積極的な情報収集等）
- 坂地区ならではのライフスタイルの提案（移住定住への周知、新しいライフスタイルの提案）

